

# 感謝と立志のメッセージ

日頃、平井嘉一郎記念図書館で学習・研究活動に取り組まれている  
利用者の皆様からメッセージを頂戴しました。  
※応募者の属性は2021年3月現在のものです。

私は利用者としても、ピアサポートを行う学生  
ライブラリースタッフ (LS) としても平井嘉一  
郎記念図書館に携わらせていただいております。  
平井嘉一郎記念図書館は、立命館大学の中  
でもダントツの蔵書数を誇るだけでなく、ライ  
ブラリーバレーや、50種類以上の椅子等、飽き  
を感じさせない趣向を凝らした造りには、勉強  
をする一学生としても楽しさを感じています。  
それらの魅力を LS での企画の中で学生に伝え  
てきたことや、オープンキャンパスをはじめと  
して学外の人たちに伝えられたことは、立命館  
大学の学生として誇りに思っています。私は今  
年で卒業となってしまいますが、いつかまたこ  
の図書館に足を運びたいと思っています。

(産業社会学部・4回生)

平井嘉一郎記念図書館は豊富な図書だけでな  
く、さまざまな学習席や研究ブースなど、落ち  
着いて学習できる環境が整っており、私の大学  
生活において欠かせない場所となっています。  
また私は2020年度から学生ライブラリースタ  
ッフ (LS) として活動を始め、どのようにする  
ともっと利用者の方に快適に使っていただけ  
るのかということを考えることが増えました。今  
後はびあら講演会などにも携わり、より利用  
者の方にいろいろな目的で図書館を利用して  
いただけるよう、邁進していきたいと思います。

(文学部・1回生)

私は学生ライブラリースタッフ (LS) として、  
日々平井嘉一郎記念図書館に携わらせていた  
だいております。その中でも私が所属する渉外企  
画プロジェクトでは、びあら講演会という企画  
を開催しています。ただ、コロナウイルスの影  
響もあり、通常通り講演会を開催することがで  
きない状況になってしまいました。日頃移り変  
わる状況においてどのように対応していくの  
か悩み、慣れない事態に戸惑いましたが、プロ  
ジェクトで対応方法を話し合い、結果として  
Zoom を使って企画を開催することで課題を乗  
りこえることが出来ました。現在私はプロジェ  
クトリーダーとして様々な企画を考えていま  
す。メンバーと共に図書館を利用される方に満  
足いただける企画をお届けできるよう頑張り  
ます。

(法学部・2回生)

私は平井嘉一郎記念図書館で学生ライブラリ  
ースタッフ (LS) として働いています。LS を  
始めるまでも図書館は利用していましたが、活  
動していくうちに図書館のことをより身近に  
感じるようになりました。また、設備の充実度  
や内装も学生をはじめとする利用者のことを  
慮ってくださる点が様々見受けられ、居心地の  
良さから一日の大半を図書館で過ごすほどで  
す。学業だけでなく学生活動においてもサポ  
ートしていただける施設はきっと多くはないだ  
ろうと感じ立命館大学に来てよかったと思  
いました。これからも LS として尽力し、図書  
館の発展に努めたいです。

(文学部・2回生)

私はオープンキャンパスの時に初めて図書館に立ち入りました。エントランスを通過して1階の中心部から上を眺めると本がずらりと並んでおり、その大迫力の光景に胸を躍らせたことを今でも覚えています。また高校生の私はこの図書館に希望と自分の将来像を重ね合わせた気がします。

大学に入ると勉学に励むと同時に学生ライブラリースタッフ (LS) に所属しました。LS の活動では学生目線を第一に、平井嘉一郎記念図書館の良さや魅力を伝えられるよう邁進しました。多くの凄い！が詰まった施設ですが、その中でも私のおススメポイントを2点紹介します。1点目は自動返却貸出機や自動書庫などの最先端の設備が整っていることです。2点目は話し合いながら能動的に学べる“ぴあら”があることです。ぴあらはLS の活動で座禅やVR の企画を運営したので私にとって思い出深い場所です。

平井嘉一郎記念図書館とは Border を超えた多様な学びができる世界有数の学び場であると確信します。開館5周年をもちまして、今一度平井嘉一郎様、信子様へ感謝申し上げます。

(法学部・4回生)

平井嘉一郎記念図書館はハーバード大学の図書館に似ていて、見た目が神殿のようです。それだけでも学習意欲が上がります。内装もそれぞれの学生が好きな場所が見つかる多様性を感じています。現在就活生の私ですが、この図書館で培った成長意欲と、平井嘉一郎様の率先垂範という考え方を胸に頑張りたいと思います！

(映像学部・3回生)

私は、学生ライブラリースタッフ (LS) として、図書館をよりよくするために日々活動しています。平井嘉一郎記念図書館の蔵書数はとても多く、本図書館を利用するにあたって恩恵を被る利用者の数は計り知れません。自習スペースも完備されており、学習環境の充実のおかげでテストやレポートだけでなく、資格の勉強もはかどるといった利用者の声もよく聞きます。これからもLSとしてより多くの人たちに平井嘉一郎記念図書館を利用してもらえるように活動していきたいです。

(法学部・1回生)

開館5周年おめでとうございます。

私が4年前に入学した際、平井嘉一郎記念図書館のあまりの荘厳さ、綺麗さに圧倒された記憶があります。実際に利用した際図書館の雰囲気が好きになったことがきっかけで、学生ライブラリースタッフ (LS) として図書館で勤務させて頂きました。勤務内のプロジェクト活動で『ぴあら講演会』というイベントの企画・運営、教員インタビューに携わる等、本当にたくさんの貴重な経験を積むことができました。中でも、カンボジア訪日団の方々に英語で図書館ツアーをしたことがとても印象に残っています。素晴らしい経験をさせてくださったLSの仲間や担当職員の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。

平井嘉一郎記念図書館は座席数も多く、本の種類もとても豊富で学びにうってつけの場所だと思います。これからも平井嘉一郎記念図書館がより多くの人に愛される場所となるよう願っています。4年間ありがとうございました。

(法学部・4回生)

私は2020年度より学生ライブラリースタッフ (LS) として活動していますが、新型コロナウイルスの影響によってそれまで図書館に関して知識がなく利用の機会もありませんでした。しかし、内部から図書館を初めて見て、平井嘉一郎図書館の所蔵書籍の量の多さ、整った自習環境に、学生に寄り添って考え作られた図書館であることを感じました。私は特に英語書籍も多くそろえていることが素晴らしいと感じました。平井信子様に対しては、学生の勉強を支える素晴らしい環境整備をしていただき、非常に感謝しています。これからも学生の有意義な生活作りの1つになるように、私自身LSとして活動していこうと思います。

(産業社会学部・1回生)

私は学生ライブラリースタッフ (LS) として平井嘉一郎記念図書館でぴあら講演会の企画立案・運営をしてきました。私はぴあら講演会を通じて図書館の中で読書や試験勉強以外にも様々な情報の収集・そして体験ができるサービスを提供することができたと思っています。そしてその経験が私の「図書館＝本を読む静かな空間」という概念を変えてくれました。平井嘉一郎記念図書館は他にもシアタールームやカンファレンスルームなどの設備があり、学習空間が多様です。このような恵まれた環境で4年間研究をすることができ、とても光栄です。平井嘉一郎様、平井信子様へ心より感謝申し上げます。

(文学部・4回生)

私は立命館大学に入学してすぐ、この平井嘉一郎図書館に一目惚れしました。この図書館の高校までの図書館とはくらべものにならないくらいの本の量、そして充実した施設が完備されていることにとっても感動したのを今でもはっきり覚えています。それをきっかけに学生ライブラリースタッフ (LS) になろうと思いました。LSの活動では、配架や書架整理のほかにも様々な企画を行っています。その企画を通して、この平井嘉一郎記念図書館の魅力を知ってもらい、多くの人に利用していただける図書館にしていきたいと考えています。今年は新型コロナウイルスの影響もあってか、残念ながら私の周りには図書館に足を運んだことがあまりないという人がかなりいます。平井様ご夫妻の学生への思いが詰まった図書館を利用しないのは立命館大学の学生としてもったいないように思えます。だから、今後は、私自身もこの図書館を愛用し、LSとして広報活動をしたり、利用者さんが気持ちよく利用してもらえるような環境づくりをしたりしていきたいです。

(法学部・1回生)

平井嘉一郎記念図書館の凄いところは、何といっても建物です。まずは外観。(一部の)学生の間では「パルテノン神殿」との呼び声高い、堂々とした佇まいです。さらに注目して欲しいのが、2階と3階にある「ライブラリーバレー」。本棚にびっしりと蔵書が並べられており、まるで「本の谷」のようです。私のお気に入り是最上階・3階から見るライブラリーバレーです。2つのライブラリーバレーが地層のように重なっており、圧巻です。

(文学部・2回生)

このたびは、立命館大学平井嘉一郎記念図書館 5周年おめでとうございます。私は、立命館大学に入学して約1年間さまざまな面から平井嘉一郎記念図書館に支えられてきました。私は2020年度入学生ですが、はじめて平井嘉一郎記念図書館と出会ったのは3月末に行われた学部新入生ガイダンスの時でした。正門に入ってすぐにある、白い荘厳な門構えにとっても驚きました。またキャンパスの閉鎖期間中には、図書館ホームページを利用したり、データベースを利用したり、図書館サービスの力を借りて学修を進めることができました。施設の利用が出来るようになってからも、自主スペースの広さといったハード面の魅力、専門書や進路資格資料などの蔵書数といったソフト面の魅力に気付かされました。利用日数が短く、まだまだ多くの魅力を知ることができていないと感じています。これからも大学生活の中心に平井嘉一郎記念図書館を利用して、将来に向けて励んでいきたいと思っています。

(法学部・1回生)

平井嘉一郎記念図書館は、学びを深めることができる場だと思います。様々な分野の本がたくさん所蔵されていて、はじめて図書館に入ったときは、ライブラリーバレーに収められている本の多さに圧倒されました。大学図書館と聞くと専門的で難しい本ばかりだと思っていましたが、平井嘉一郎記念図書館は小説や雑誌なども蔵書されており、活用するのがより楽しくなりました。これからも図書館を上手に活用して、学びを深めたいと思います。

(文学部・1回生)

平井嘉一郎記念図書館は、100万冊以上の蔵書数を誇り、高校までの図書館とはスケールの違う施設で初めて見たとき驚愕した。地下1階から3階までの4つのフロアに、多くの書籍だけでなく様々な施設が備わっている。私が特に気に入っているのは、1階にある「ぴあら」だ。図書館内で唯一発話が可能な空間であり、プリンター、パソコン、スキャナなど学習・研究に利用できる様々なサービスが充実している。これまで利用した図書館にはなかった便利な設備・サービスが集約されており、非常に優れた空間であると実感した。2020年は新型コロナの影響で多くがオンライン授業となったため、自分を含めぴあらや図書館各階で受講している学生も多く、図書館には非常にお世話になった。今後もこれまで以上に図書館にお世話になると思われるので、この平井嘉一郎記念図書館に感謝し、活用していきたい。

(文学部・1回生)

平井嘉一郎記念図書館開館5周年おめでとうございます。充実した設備をはじめ、この図書館の美しい内装と落ち着いた雰囲気が好きで、ここで学生ライブラリースタッフ (LS) として働かせていただけている事を誇りに思っています。これからLSの業務や企画を通じて、この図書館でたくさんの思い出を作っていきたいです。また、この図書館の素晴らしさをいろいろな人に知ってもらい、より多くの人に利用していただけるよう、頑張りたいと思います。

(国際関係学部・1回生)

開館5周年おめでとうございます。平井嘉一郎記念図書館ではレポートや学習に励んだり、ぶらぶらと館内を歩いて新たな本との出会いを楽しんだり。平井嘉一郎記念図書館は私の大学生活にとって欠かせない場所です。自習スペースも多く用意されているため、モチベーションが下がりがちだったオンライン授業では館内で勉強する他の学生たちの姿に刺激されました。図書館には一人一人がそれぞれの目標に向かって黙々と勉強する自立した雰囲気があり、私も頑張ろうという気持ちになります。私は2020年度から学生ライブラリースタッフ (LS) として活動しています。本が苦手な方やあまり図書館を利用しない方にも図書館の魅力を知ってもらえるように頑張ります。

(産業社会学部・2回生)

初めてこの図書館を見た際に、まるで神殿のような綺麗な外観に圧倒され「大学の図書館はすごい！」と漠然と感じたことを覚えています。実際に利用してみると豊富な学術書はもちろん、グループワークに最適なぴあらの存在もあり大学での学習を始めたばかりの私にとって非常に助かりました。その後学生ライブラリースタッフ (LS) として図書館の業務に携わせていただき、渉外企画プロジェクトのメンバーとしても多くのぴあら講演会の開催に関わらせていただきました。プロジェクトリーダーも任せていただき大変な時期もありましたが、座禅やヨガなどユニークな企画を開催して多くの好評の声を頂くことができ、微力ながらもこの図書館に貢献できたのではと思っています。今後ともLSの活動を通してこの図書館の発展に少しでも貢献していきたいです。

(法学部・3回生)

平井嘉一郎様、平井信子様、このような素敵な図書館を作ってください誠に有難うございます。平井嘉一郎記念図書館は、学習の自由を教えてくださいました。図書館には本のみならず、新聞や映像資料もたくさんあります。また、この図書館では一人で勉強することはもちろん、ぴあらで他人と交流することによって自分の見識を広げることできます。こういったことができるのは、図書館が学習の無際限さ貫いているからです。私は今後も引き続き、学生ライブラリースタッフ (LS) としてこの図書館の魅力を広めていくことで、平井嘉一郎様と平井信子様へご恩をお返ししたいです。

(産業社会学部・1回生 (留学生))

この大学に入ってから図書館を利用する機会が増え、今までよりも様々な面で図書館の優れている所を発見できました。まず研究において、専門的なテーマであっても何冊かは本が見つかる事、また他キャンパスから本を取り寄せる事ができる事がこの図書館の大きな強みだと感じました。研究する点において本が借りやすい環境が整っている事がありがたかったです。また学生ライブラリースタッフ (LS) として図書館で働く事で、平井嘉一郎記念図書館のさまざまな利点に気がつきました。特にぴあらについて、グループワークに必要なスペースや、プリンター、ビックパッドなどの機械が一部屋に揃っている事がすごく役に立つと感じました。またわからない事が有ればすぐスタッフに聞く事ができる環境もぴあらの強みだと気がつきました。利用者がぴあらをもっと活用してくれるように、また利用者の質問に答えられるようにもっと経験を積んで頑張りたいです。

(文学部・1回生)

私は学生ライブラリースタッフ (LS) として、平井嘉一郎記念図書館で楽しく勤務させていただいています。LSになることで図書館の魅力をより理解し、活用できるようになりました。日々、ぴあらで打ち合わせをしたり、個人研究ブースを予約して集中して学習に励んだりしています。学習環境が整っていることはもちろん、平井嘉一郎図書館は外観も美しく、家具へのこだわりも強いお洒落な場所です。ただ学ぶための場ではなく、空間を楽しむことが出来る素敵な図書館だと思います。このような素晴らしい図書館で勤務し、学修する機会が与えられたことを有難く思っています。LSとして、図書館の環境向上に精一杯務めたいと思います。最後になりましたが、平井嘉一郎様の御遺志を汲んでご寄付をくださいました平井信子様に心より御礼申し上げます。

(文学部・1回生)

平井嘉一郎記念図書館は新しいこともあり、外見も館内もとても綺麗で機能的な図書館です。私自身も初めて館内に入った時思わず見惚れてしまいました。また機能の面でも素晴らしく、椅子の種類など学習環境へのこだわりはどの大学図書館にも負けないと思っています。平井嘉一郎記念図書館は本当に立命館の学生を思って造られた図書館です。寄付していただいた平井様ご夫婦に感謝を申し上げますとともに、寄付してよかったと思っただけのように今後とも勉学に励んでいきたいと思ひます。

(法学部・1回生)

平井嘉一郎記念図書館開館5周年おめでとうございます。  
私は現在法学部に所属しており、図書館では主に授業の復習や各種試験対策のために、法律学の学習をしています。学習をするに際して、図書館では学習のための参考書・資料を探すことが多いのですが、平井嘉一郎記念図書館においては資料が分類ごとに配架されているため、場所さえ覚えてしまえば分野別に資料が探しやすく非常に利用しやすいと感じています。また、貸出用パソコン、プリンター等ふと立ち寄った場合であっても学習をすることができる環境が整っていることもありがたい点の一つです。

このような学習環境の整った図書館を寄贈していただいた平井信子様、そして平井嘉一郎様に感謝の意を表すとともに、この素晴らしい図書館を在校生、新入生が積極的に利用できるよう、学生ライブラリースタッフ (LS) の一員として宣伝・広報に努め、図書館をさらに盛り上げていけるよう尽力していきたいと思っています。

(法学部・2回生)

初めて平井嘉一郎記念図書館を見た時、ギリシャの神殿を模したようなその姿に圧倒されました。館内では吹き抜けの天井や、各階で異なるインテリアの雰囲気など一つの建物として素晴らしいと思いました。図書館内には、レポートや公務員試験などの試験勉強に役立つ資料がたくさんあります。勉強する場としてとても良い環境だと思います。専門外の分野でも、読んでみると新たな視点が得られたり疑問が解決することがありました。これからも様々な本を読み、学びを深めていきたいです。

(文学部・1回生)

平井嘉一郎記念図書館開館5周年おめでとうございます。私が立命館大学の進学を決定したきっかけはこの図書館にひとめぼれしたからでした。また学生ライブラリースタッフ (LS) として活動していく中で、より図書館が好きになりました。活動の中で知ったのですが、各階ごとにコンセプトがあり、椅子や照明にまで様々な工夫がされている点が非常に素晴らしいと思います。また、LSの活動を通し貴重な経験、国籍や学部、学年をも超えた素晴らしい方々と出会うことが出来ました。大学生活も半分終わりましたが、図書館のおかげで私の大学生活は色濃いものになっています。これからも図書館を利用させていただき、またLSの活動を精力的に行い卒業へ向けて歩んでいこうと思います。

(文学部・2回生)

開館5周年おめでとうございます。私は利用者としても、学生ライブラリースタッフ (LS) としても日々平井嘉一郎記念図書館を利用しています。友達におすすめの座席や新しい利用方法を提案し、喜んでもらえる時、平井嘉一郎記念図書館の素晴らしさを改めて実感します。まだまだ気づいていない魅力があると思うので、新しい使い方を試みたいと思っています。このような大変な時期ですが、変わらず利用できることに感謝いたします。未永く愛される図書館でありますように。

(産業社会学部・3回生)

平井嘉一郎記念図書館は、私たち学生の主体的な学びを支えてくれる大切な場です。自動貸出返却機やPCロッカーなどの革新的な設備が取り入れられ、快適な学習環境が整えられています。特にこの図書館が優れていると思うのは、学生に寄り添った空間づくりです。この図書館では、フロアごとにインテリアの雰囲気が統一されています。椅子の座り心地や仕切り・コンセントの有無など、一つ一つの座席が利用者の用途に合わせて考えられているところが、この図書館の魅力であると思います。

私は学生ライブラリースタッフ (LS) の活動していますが、今後一人の利用者としての視点を大切に、平井嘉一郎記念図書館をより一層学生のニーズに応えられる図書館にしていきたいです。そのために、多くの学生の声に耳を傾け、そういった声を日常の業務や企画づくりなどに活かしていこうと思っています。

(映像学部・1回生)

私は2020年度から学生ライブラリースタッフ (LS) として活動しています。元々高校生の頃からこの平井嘉一郎記念図書館の素晴らしさに惹かれ、立命館大学に入学できたらくさん利用しようと思っていました。昨年までは主に課題に関する図書を読むために利用していましたが、あまり関心がなかった分野の図書も多く所蔵されており、いつも新しい発見をすることができます。また、ぴあなど図書を読む以外の用途で利用できる点も素晴らしいと思います。LSとしてはまだまだ未熟ですが、先輩方から多くのことを教えていただいて、自分も含め、学生がより平井嘉一郎記念図書館を利用してくれるように活動していきたいと思っています。

(文学部・2回生)

平井嘉一郎記念図書館には、様々な形態の自習スペースがあるのが大きな魅力の1つであると感じます。課題やレポートに集中して取り組みたいときには仕切りのついたデスクを、ゆっくりと自分の時間を楽しみたいときには景色が綺麗に見えるデスクやくつろげるソファをと、自分の用途に即した利用ができます。また様々な目的で利用しやすい図書館もあり、課題やレポートをするにあたっては必要な資料をすぐに探しに行くことができ、自分の時間を過ごすにあたってはたくさんの本と出会うきっかけを作ることができます。静かで落ち着いた雰囲気もととてもリラックスできます。

このような、様々な目的で使用しやすい静かで落ち着いた雰囲気を維持するためにも、私は学生ライブラリースタッフ（LS）として、日々丁寧かつ正確な配架だけでなく、本棚の乱れや椅子の乱れなど、気づいたことは積極的に整えるようにしています。今後も利用者の方が立ち寄りやすいような図書館にしていくために、LSとしてできる限りの協力をしていきたいと思っています。

（法学部・2回生）

立命館大学に入ってから、一年間まだ経っていませんが、平井嘉一郎記念図書館は初めから私の大学の好きどころの中の一つでした。本を借りること以外でも、自習からPIARAでのグループワークまでなんでもできて、すごい場所だと思います。学生ライブラリースタッフ（LS）として図書館の良さを他の学生に伝えることできるのもとっても嬉しいです。今後は様々なイベントなどを立ち上げるのが楽しみです。これからも学生としてもLSとしても頑張っていきたいと思っています。平井嘉一郎様、平井信子様、ありがとうございます。

（国際関係学部・1回生（留学生））

専門書はどうしても高価で、自分で全て買うことはできませんでした。図書館に多くの本が所蔵されていることで、研究をすることが出来ました。感謝しています。

（社会学研究科・修士2回生）

平井嘉一郎記念図書館はアイデアが生まれ、課題を解決することができる場所です。行き詰まった時に、館内を歩きながら本棚を眺めていると様々な資料が目に入り、そこから新しいアイデアを思いつくこともありました。また椅子や照明、窓からの景色など各階に違いがあるので、気分によって環境も変えられます。このように館内でも気分転換ができ、居心地の良さにつながっています。卒業研究ではより図書館のサービスを活用していきたいと思っています。

（映像学部・3回生）

平井嘉一郎記念図書館の魅力は、何といたっても「空間」の一言に尽きます。私は学生ライブラリースタッフ（LS）として活動しているため、週に最低一回程度は図書館を訪れます。活動時間中は勿論図書館内にいますが、勤務が終わってもついつい閲覧室などで長居してしまうことも度々あります。階層ごとに異なる照明や多種多様な座椅子や机に加えて、学習の補助となる最先端の設備の数々。大学図書館の中でも、ここまで学生のことを考えて設計された図書館は中々ないのではないのでしょうか。私は現在4回生ですが、卒業後もこの図書館を訪れたいです。

（文学部・4回生）

第一体育館の解体から平井嘉一郎記念図書館の竣工、そして今回の5周年までをずっと内外から観察してきた。そして、平井嘉一郎記念図書館が一番優れていることは学生ライブラリースタッフ（LS）の存在とその活動にあると思っている。利用者として施設や学習環境の向上に満足しているが、それは「新しい」のだから当然のことである。しかし、サービスの提供や利用しやすさ、居心地の良さは施設が新しくとも勝手に良くなるものではない。LSは利用者でもある学生がスタッフとして通常業務を行うと共に、おすすめ本の紹介やツアーなど図書館に関する様々な企画を準備し提供している。今後、建物としての図書館は古くなっていく。だが、LSを通して図書館は常に新しいのである。

（国際関係研究科・博士5回生）

私自身学生ライブラリースタッフ (LS) としても一利用者としても平井嘉一郎記念図書館は、最も思い出深い場所です。図書館の中は無駄のない設計で落ち着いた空間を実現しており、数ある席の中から自分だけのお気に入りのスペースを見つけて、リラックスしつつ勉強に集中して過ごすことが好きです。また、ただ勉強だけではなく、小説などの文庫本を読んだり LS が開催するイベントやゲームに参加したり、図書館を楽しむと同時に自らの知見や生き方を広げていくことも可能です。せっかく立命館大学に入ったならば、一人でも多くの人々に使っていただきたいと思います。

(国際関係研究科・修士2回生)

コロナ禍で、平井嘉一郎記念図書館は私の居場所の一つとなりました。大学もオンライン授業が多くなり、それに伴ってレポート課題などが多く出題されました。平井嘉一郎記念図書館は課題のために調べ物をしたり、集中して学習に取り組んだりできる環境が整っているため、授業終わりや学生ライブラリースタッフ (LS) の活動の前後に自習スペースに行き、集中して学習を行うことができました。個人的には個人研究ブースを予約して利用することが多く、一人きりの環境で思索に耽ることができるスペースがあるというのは非常にありがたかったです。蔵書に関してももちろん素晴らしく、授業で使う参考資料を豊富な蔵書の中から自由に探すことができますし、語学や資格試験の問題集・教科書も多いためそれらを利用して自学自習に取り組めました。このような図書館を作ってくださった平井嘉一郎様、平井信子様へ感謝申し上げます。

(文学部・1回生)

私は、平井嘉一郎記念図書館があるからこそ、立命館大学に楽しく通えていると思っています。それくらい私の学生生活にとって、平井嘉一郎記念図書館は本当になくてはならない存在です。

具体的には、日本でも群を抜く豊富で膨大な量の蔵書たちの限らない知に触れながら、日々学問に励むことができます。また階ごとの雰囲気の違いが、見晴らしの良い綺麗な景色や地下の落ち着いた空気感など多様な刺激を与えてくれて、それが学ぶことへの活力に繋がっています。それから、私にとって平井嘉一郎記念図書館は大切な出会いの場でもあります。日々の豊かな本との出会いに加え、学生ライブラリースタッフ (LS) として多くの人たちと出会えたことが、自分自身の心を成長させてくれていると感じます。

こんなにも素晴らしい図書館をご寄附くださった平井信子様へ、心より感謝申し上げます。今後も、平井嘉一郎記念図書館で様々な人と切磋琢磨し合いながら学び続けて、1日1日を大切に過ごしていきます。

(文学部2回生)

私は平井嘉一郎記念図書館が気に入っており、よく利用しますが、何といたってもすごいのはその蔵書数と設備です。本を探した際に、この図書館にない本の方が少ないというところから始まり、階ごとに異なる雰囲気やコンセント完備の座席、PCロッカー、充実したカウンターサービスと、見つけた本を活用する部分も大変に優れており、素晴らしいと感じることが多々あります。開館5周年の節目を機に、ますます今年後は、このような素晴らしい図書館をご寄附くださった平井様ご夫妻の意を胸に、学習に励みたいと思います。

(文学部・3回生)

私が初めて平井嘉一郎記念図書館を見たのは、高校2年生の春休みでした。当時、私は大学見学の一環で衣笠キャンパスを訪れましたが、キャンパスに足を踏み入れた時に真っ先に目に入ったのが平井嘉一郎記念図書館でした。その時は外観の壮大さに驚いてしまっただけで中には入ることはできませんでした。しかし、大学で図書館情報学を学びたいと考えていた私にとって、この図書館の存在は憧れそのものでした。

現在は立命館の学生として、その憧れの環境で非常に有意義な時間を過ごすことができます。さらに、私は学生ライブラリースタッフ (LS) として平井嘉一郎記念図書館の便利さをより多くの人に知ってもらうことに努めています。業務内のプロジェクト活動では、図書館へ多くの人を誘致するためにクイズラリーイベントや映画上映会を開催しています。現在はコロナ禍で一部利用が制限されていますが、次世代の図書館の利用方法を創造していきたいと考えています。

(文学部・3回生)

「サークル (お遊び) のために図書館を使っています！」かなり過激なスタートを切ってしまいましたが、中身はいたってシンプルです。私は、現在「模擬国連」という一風変わったサークルに所属しています。この「模擬国連」、簡単に説明いたしますと、「1国の大使として、実際の国際問題を議論するサークル」です。例えば、イラクのクウェート侵攻や、核兵器に関する再検討会議なんかをやっています。さて、うまく議論するには何が大事でしょうか？スピーチ力、交渉力…。いろいろ考えられると思いますが、やはり「知識」も重要になります。そこで図書館の出番です！図書館にある、関連するありとあらゆる本を読んで学んで (遊んで) おります。(ですので、特定の国際問題に関する本が本棚から一気に消えていたら、たぶん私が原因です。苦笑)

最後に、大学生として、しっかり学べる (遊べる) 場を提供していただいた、平井嘉一郎さま並びに平井信子さま、ありがとうございます！

(法学部・1回生)

私はこの平井嘉一郎記念図書館に、利用者としても学生ライブラリースタッフ (LS) としてもよくお世話になっています。利用者としてはまず、館内が広さと座席の多さに感謝しています。試験が近いときを除けばいつでも席があって読書や勉強、課題などに集中できることがありがたいです。また豊かな蔵書量も助かります。なんとなく読みたい本や探したい資料を求め、少し歩くだけで望み通りの本や資料を見つけられるほどです。そしてLSで、図書館側として勤務させていただくことで発見した素晴らしさも多くあります。例えば徹底した感染症対策や利用者の方のサポートです。発話可能なびあらの消毒作業は頻度が高く、利用者の方の質問に答えるガイドラインも充実しています。図書館の運営がとても良いことを知って、安心して利用できるようになりました。この5周年という節目に平井嘉一郎記念図書館で勤務できることに感謝いたします。

(産業社会学部・1回生)

この度は5周年おめでとうございます。平井嘉一郎記念図書館はとても設備が充実していると思います。入学した当初、外観やライブラリーバレーに圧倒されました。利用していくうちに自分のお気に入りの場所ができて、とても勉強に集中できます。階ごとに雰囲気の違い、座席の種類が豊富であるのが素晴らしいと思います。また、学生ライブラリースタッフ (LS) での活動を通して、素晴らしい設備・サービスがたくさんあることも知りました。平井嘉一郎記念図書館の魅力を最大限伝えていけるように、活動を頑張っていきたいと思っています。

(文学部・2回生)

平井嘉一郎記念図書館を活用して、私はこれまでに『源氏物語』や『平家物語』、『風姿花伝』など、様々な古典文学作品の学習・研究をしました。平井嘉一郎記念図書館には膨大な数の図書・資料があるため、研究のための資料集めに困ったことがありません。また、自動書庫のサービスも素晴らしいと思います。館内にあるOPAC検索台から出庫指示すると、所定の本棚に利用したい図書置いておいてくれるため、効率良く資料を集めることができます。私は、学習・研究に疲れたら3階のライブラリーバレー沿いのソファに座ってボーっとしたり、ライブラリーバレーから一階の様子を見てみたりしています。良い気分転換になるのでオススメです。私はいつも、こんなに綺麗な図書館で学生ライブラリースタッフ (LS) として活動できて幸せだなと感じています。今しかできない経験をさせてくださった平井嘉一郎様、平井信子様には感謝の気持ちでいっぱいです。これからもありがたく図書館をたくさん利用させていただきます。

(文学部・2回生)

私は、入学当初から平井嘉一郎記念図書館のことが好きになり、これまでたくさん利用してきました。特に定期試験や資格試験の勉強では、集中できる学習環境のおかげで、自分のベストを尽くすことができました。平井嘉一郎様、平井信子様には、このような素晴らしい学習環境の図書館をご寄付してくださったことに、感謝の心でいっぱいです。また、私は平井嘉一郎記念図書館の愛用者である一方で、学生ライブラリースタッフ (LS) として、学生目線から図書館の運営にも携わらせていただきました。利用者の方々がより快適に図書館を利用できるよう丁寧に業務を行い、より多くの人に平井嘉一郎記念図書館の魅力を知らってもらうために様々な活動をしたことは、大変やりがいのあるものでした。そして何より、平井嘉一郎記念図書館の一員として活動することができたことを誇りに思います。今後はLSとして平井嘉一郎記念図書館のさらなる魅力発信を行うとともに、平井嘉一郎記念図書館の利用を通じて、自らの夢に向かって日々努力していきたいと思っています。

(法学部・3回生)

研究だけでなく、学生ライブラリースタッフとして平井嘉一郎記念図書館の開館に携わらせて頂いたこともあり、大学施設の中でも特に思い出深い場所です。時間が空いた時、まず行ってみようと思いつのはいつも図書館でした。そして立ち寄れば必ず、知的好奇心を刺激する発見がありました。今後も平井嘉一郎記念図書館が全ての利用者に寄り添い、そして全ての利用者から愛される場所であることを心からお祈りします。

(2018年3月文学部卒・校友)

開館5周年おめでとうございます。在学中に旧図書館から平井嘉一郎記念図書館に建て替わったことは良く記憶に残っています。当初は中々慣れない部分もありましたが、日々図書館に通い友人とびあらでレポートに取り組んだこと、図書館司書課程の課題に取り組んだことを通し、私にとって非常に身近な場所となっていました。今後も多くの人々の拠り所となり、大切にされていくことを祈っています。

(2019年3月文学部卒・校友)



勉強に励みやすい環境で、本当に貴重な場所を頂いていたんだと感じます。これからも学生たちが勉強に励むための場所として活躍されることを祈っております。

(2019年3月産業社会学部卒・校友)

開館5周年おめでとうございます。私は在学中、学生ライブラリースタッフに所属していました。2回生の頃、正門の横に新しい図書館ができるということで、まだ工事中の囲いの横をどんな図書館ができるのだろうかとわくわくしながら通学していた記憶があります。そして、本はどんな配置で並べるのか、どんなイベントを企画してみようかと、オープン前の図書館に入らせてもらい、職員の方や同期の仲間たちと夜遅くまで話し合ったこともつい昨日のことのようです。オープン後は、新入生や学外の方に図書館内の案内を行うことも多く、「立命館の図書館すごいね」と色々な方々にほめて頂けることがとても誇らしく、そんな環境の中で学生生活を過ごせたことは今でも自身の財産となっています。これからも平井嘉一郎記念図書館の益々のご発展と皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

(2018年3月法学部卒・校友)

勉強でもサークル活動でもお世話になりました！私が入学した年に開館した平井嘉一郎記念図書館が、もう5年になるとは…自分自身の年齢の老いを感じる今日この頃です…。(笑)  
本当に充実した設備が兼ね備えられている平井嘉一郎記念図書館で、当時学生ライブラリースタッフとして図書館でイベントを開催する活動に従事していた私にとっては、ネタが尽きず、イベントの作り甲斐のある図書館だった思い出があります。卒業後、コロナ禍でなかなか訪れられていませんが、「ニューノーマル」に対応した進化し続ける図書館であり続けてください！また会えるのを楽しみにしているよ。

(2020年3月法学部卒・校友)

大学生活の思い出の端々に登場する場所。それは、図書館です。夜遅くまで勉強したことや、友達とびあらかで語ったこと。そして、学生ライブラリースタッフとして、図書館の運営に携わることができたこと。ここで得た経験は、今でも私の心の支えです。これからも平井嘉一郎記念図書館が、宝物のような時間を提供する空間であり続けることを祈っています。5周年、おめでとうございます。

(2019年3月文学部卒・校友)

開館5周年おめでとうございます。在学中、学生ライブラリースタッフとしてたいへんお世話になりました。私は旧衣笠図書館で研修を受けた最後の代です。2回生の春、平井嘉一郎記念図書館が開館したときには、言葉では表せないわくわく感がありました。さくら並木が満開で、まるでお祝いしてくれているようだったことを覚えています。

仲間と悩みながら、職員の方に支えていただきながら、新しい図書館でブラインドライブラリーやぴあら講演会などさまざまな新しいイベントの企画をさせてもらえたことは、今も私を支えてくれています。本当にありがとうございました。

私は現在、本に関わる仕事をしております。在学中、何百、何千と排架した本ですが、その一冊ができるまでの長い編集の道のりを勉強中です。図書館と本のことを考え、おもしろい未来をつくっていける人になりたいと思っております。

末尾になりましたが、益々のご発展をお祈り申し上げます。

(2019年3月文学部卒・校友)

わたしはちょうど、旧図書館と新図書館の切り替わりの時期に学生ライブラリースタッフとして勤務し始め、研修は旧図書館、実際の勤務はほぼ新図書館で行いました。二つの図書館を知る最後の世代として働けたことが、学生時代の思い出として残っています。新しくなった図書館の建物ができ、図書が配架され、スタッフだけで利用者のいない建物の中を歩いた時、本は整然と並んでおり、入口から入ってすぐに見える吹き抜けを見上げたときに、展示品のように並べられた姿を見て息を飲むほど美しかったことを思い出します。開館してから利用者が多く訪れ、資料を探したり、予習や宿題をしたりする場所としても、友人と語らったり、議論する場所としても、人それぞれが望む、違った形で利用される、生きた図書館となっていく姿を間近で見られたことに喜びを感じていました。

(2019年3月産業社会学部卒・校友)

この度は開館5周年おめでとうございます。私は2020年に立命館大学を卒業しましたが、平井嘉一郎図書館が開館した2016年に入学しました。大学生活の4年間、図書館で多くの人と出会い、多くのことを学ぶことができました。その経験を活かし、社会人として楽しく生活することができています。本当にありがとうございます。

(2020年3月法学部卒・校友)

学ぶということは、学生はもちろんのこと、すべての人にとって生涯を通じてかけがえのない活動だと思います。そして、それが実現できる環境は誰にとっても宝物です。私は有難いことにこの大学で派遣職員として働かせていただき、その中でこの図書館を利用する機会に恵まれました。大きな窓から自然の光差し込む眺望も素晴らしいデスクで、休日ごとに今自分の関心あることについて落ち着いて本を読んだり調べたり記事を書いたりしています。比叡山を開いた最澄のことばに「おのずから住めば持戒のこの山はまことなるかな依身より依所」というのがあります。自ら心身を調え正しく保つよう努めることはもちろん大切だけれども、それを保てるように整えてくれる場所、環境というものがまず大切なんだと。我が家の日常溢れる狭いワルルームではない、多くの資料と蔵書がすぐそこにあって静かに集中して学問できるそのかけがえのなさをひしひしと覚えています。コロナで使えなかった日々は本当に辛かった。今使わせていただけることに、ここにその恵まれた場所があることに心から感謝申し上げます。

(一般利用者)

旧衣笠図書館を知る者としては、全国の私立大学の中でも屈指の蔵書数、利用率を誇りながら、開架図書やキャレルデスクなどが少なく、閲覧環境は快適とは言えませんでした。平井嘉一郎記念図書館の開設は立命館大学史上実に画期的なことで、漸く図書館が本学の学修と研究の水準に見合ったものになったと感慨深いものがあります。ありがとうございました。

(図書館利用支援課・職員)

これからの未来を担う学生にとって、カシダスゲートや自動書庫、PCロッカーなど最先端の技術を取り入れた平井嘉一郎記念図書館が大学生活の中心となっています。「ぴあら」やセミナールーム、カンファレンスルームでは、学生同士が共に学び、自己を成長させてきました。コロナ禍という環境変化にも柔軟に対応してきた平井嘉一郎記念図書館はこれからも立命館大学で学ぶすべての利用者を支え、新たな功績が生まれる礎となることでしょう。図書館としても平井嘉一郎様のご遺志を引き継ぎ、今後さまざまなサービスを展開し、利用者にとって魅力ある図書館を目指します。

(図書館利用支援課・職員)

平井嘉一郎図書館になり、ぴあらもガラス張りで見通しも良く学生がグループで議論を交わしていたり、イベントを行っている様子が良く見え、旧図書館の閉鎖的なぴあらと比べるとまさに開かれた大学図書館となった気がいたしました。娘が高2の時のオープンキャンパスではまだ旧図書館でしたが、2016年に入学した時には平井嘉一郎記念図書館が開館しその変わりように大喜びしていました。その居心地のよさから平井嘉一郎記念図書館は娘の居場所となり、家で勉強するよりはるかに図書館で学ぶ時間が増えました。娘の定位置は3階北東窓側で、演習等で複数人集まる時や留学生のタンデムパートナーと語らう時はぴあらをフル活用していたようでした。ある日メモリアルルームを目にしたことから家で平井様と奥様の話となり後進のために私財を投じる理念に感銘していました。偉大な先輩の精神に触れながら図書館とゼミ室で作成した卒論は岡本茂樹奨学金の奨励賞を頂き、社会人となりました。この図書館で過ごした時間は娘にとって大変貴重なもので、親子共々心より感謝しております。

(図書館学術情報課・職員)

「図書館の中の人」として長く仕事をしてきたなかで最高の設備を備えた図書館だと思っています。学生の時にこのような図書館で学んでいたなら、と羨ましく思います。これからもこの大いなる知と情報の宝庫と利用者さん達との素敵な出会いを演出するべく、「図書館の中の人」も努力と研鑽を重ねていきたいと思っています。

(図書館学術情報課・職員)

平井嘉一郎記念図書館の開館から5年が経ち、日々のサービスカウンター勤務で感じることは、来館者の多様化と利用方法の変化です。

学内は勿論、卒業生、保護者の皆様、近隣にお住いの方や修学旅行学生等、これまで以上に様々な方が図書館に足を運んでくださるようになりました。やはりライブラリーバレーは目を引くようで、よく見上げている来館者の姿を目にします。

また、利用方法についても資料の閲覧というより、グループで交流できる場所や落ち着いて課題に取り組める居場所を求めて来館される方が増えているように感じます。近年、自発的な学習や実践の必要性が重視される中で、このような環境ができたことは非常に意味のあることではないでしょうか。

一方で、最新の設備を取り入れた図書館の機能を十分に活用できている学生はまだ少ないように思われます。学生の学びをしっかりとサポートできるよう、今後もサービスの向上に努めて参りたいと思います。

(平井嘉一郎記念図書館サービスカウンター一同)

平井嘉一郎記念図書館の開館五周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

日頃、図書館のレファレンス業務に就かせて頂く中で、多くの学生・教員の皆様から学修活動や研究活動における参考文献検索・調査に関するご相談を受けて参りました。利用者の皆様とコミュニケーションを取りつつ業務を行っておりますと、学生の皆様の成長や、教員の皆様の研究成果に繋がっていることを実感できます。当係をご利用くださり、「学位論文が完成した」、「資料収集に協力頂き謝辞を著書に掲載したい」など、有難いお言葉を頂く機会もありました。

皆様の大学生活において、そして将来において、私達の業務が少しでもお役に立てれば、と常に願い、取り組んでおります。今後十周年、十五周年と時を重ねても、「ここに来てよかった」と思ってもらえる図書館であるよう、微力ながら努めて参る所存です。

(平井嘉一郎記念図書館参考調査係一同)

私は、旧衣笠図書館から平井嘉一郎記念図書館に移行する只中であつた2015年春に図書館へ異動となりました。初めての図書館での仕事、またそれが“新しい図書館を作る”という一生に一度あるかないかの大仕事であることに最初は戸惑いもありました。しかし、初めて図書館の建設現場に足を踏み入れた時、我々を包み込むような壮大な空間に、平井嘉一郎様の若者の育成に貢献したいというお志や、それを汲まれた平井信子様のお心を見た気がしました。そして、様々な人の思いや力が結集して今この図書館が生まれようとしているんだと、胸が高鳴ったことを今でも覚えています。

平井嘉一郎記念図書館が開館してからはびあらの学習支援サービスに取り組んでいます。この5年間で図書館独自の企画「びあら講演会」や、他部課と連携した企画を様々に開催することができました。今後は次の10周年にむけてそれらの内容をブラッシュアップし、より学生の学習・研究活動の一助となるような新しい企画づくりに励んでまいります。

(図書館利用支援課・職員)

ライブラリーバレーを見上げながら中に入ると広がるアカデミックな空間。ここに来ると感性が刺激され内面を豊かにすることができます。図書館の叡智を全身で感じながらゆったりとした座席で読書や学習ができることは、大学生活の中で大きな財産となることでしょう。また、開放的な雰囲気の中で共に学びを深めることができるラーニングコモンズ等、これからの図書館の可能性を大いに感じさせてくれる施設も充実しています。このようなすばらしい図書館が立命館にあることに喜びと誇りを感じます。ご寄付いただき、ありがとうございました。

(図書館利用支援課・職員)

平井嘉一郎記念図書館の開館5周年、おめでとうございます。また、日頃より多大なご支援を賜っている平井様、誠にありがとうございます。このような立派な施設で快適に、また集中して勉学や研究に打ち込むことが出来る環境をご提供いただき、心より感謝申し上げます。現在は、コロナ禍で活発なディスカッションはできませんが、また、この図書館で様々な学生(利用者)が交じり合い、勉強やディスカッションを通して、大きく成長できる場として積極的に利用されることを願っています。いつまでも多くの利用者に愛される図書館にみんなでしていきたいと思ひます。平井様におかれましては、これからも末永くご支援賜りますようお願い申し上げます。

(図書館学術情報課・職員)

平井嘉一郎記念図書館は本当に立派な建物です。ライブラリーバレーに静かに降り注ぐ柔らかな陽光に知の集積が照らし出され、閲覧室の瀟洒な設えと開放的な眺望が、知への好奇心を掻き立てます。しかし、立派な建物が完成すればすぐに立派な図書館ができるわけではありません。日々、新しい資料を収集し、利用者の好奇心を満たすように適切に配架し、利用者を必要な情報へと導く図書館員の営みと、知の膨大な蓄積を活かして教育、研究、学習を深め、学術を前進させる利用者の営みがあつてこそ、立派な図書館ができるはずで、そして、知への好奇心が尽きることがないように、その営みも尽きることなく、図書館は永遠に完成することがありません。私たちは、これまでと同じように、これからもその営みを絶やさないように努めてまいります。

(図書館学術情報課・職員)

平井嘉一郎様、平井信子様へ

平井嘉一郎記念図書館開設5周年に際し心よりお祝い申し上げます。本学の学生と若手研究者の育成のため厚い想いを抱いておられた平井嘉一郎様、また、その御意思を学術情報の中核拠点となる図書館建設のためにご寄付という形で私どもにお示しいただいた平井信子様、ご両人様に改めまして深く感謝を申し上げます。日本天台宗を開いた伝教大師は、人材育成方針について記された『山家学生式』の中で、「一隅を照らす」人材の育成が大事であるということと、そのために、「己を忘れて他を利するは慈悲の極みなり」、自身のことをおいて他の人のために尽くすことは、「菩薩」や「君子」といった「道心」ある人格からなされるもので非常に尊いものだと説いておられます。「忘己利他」。ご両人様の御意思と行動は、記念図書館の発展とともに学生や教職員、皆様の感謝の気持ちの表れとして、本学の歴史の中で永遠に語り継がれることと存じます。有難うございました。

(図書館利用支援課・職員)

平井嘉一郎記念図書館は、重厚感ある什器、多種の機能を備えたびあ、多数の蔵書が特に圧巻だと思います。館内の各所を訪れる度に、懸命に学修に取り組む利用者の姿が見られることから、平井嘉一郎記念図書館の存在が利用者の学びのモチベーション向上に繋がっていると確信しています。このような図書館を職場として働けることは貴重な経験です。本当にありがとうございます。新型コロナウイルス情勢に留意しつつ、今後も利用者のモチベーション向上に繋げられるような館内企画を実施していきたいと考えています。

(図書館利用支援課・職員)

平井嘉一郎記念図書館開館5周年おめでとうございます。

以前は少し手狭な印象があった図書館が開放感あふれる空間となり、蔵書も探しやすくなってとても感謝しています。資料の豊富さと、たくさんの資料を抱えても集中できるスペースが確保できる閲覧席のおかげで、調べ物の作業効率も上がりました。長時間滞在しても、和書洋書雑誌に文庫と知的好奇心の赴くままに利用ができ、飽きることがありません。素晴らしい図書館を寄贈していただき、本当にありがとうございます。職員として、一利用者として、平井嘉一郎記念図書館開館の今後の益々の発展を祈っております。これからも何卒よろしく願います。

(図書館学術情報課・職員)

平井嘉一郎記念図書館に初めて入ったとき、エントランスから見えるバレーの図書が大学図書館らしさを醸し出してワクワクしました。開放感あふれるエントランス、書架と書架の間のゆとりあるスペース、バリアフリーに対応した素敵な図書館だと感じています。図書館をご寄付くださりありがとうございます。平井嘉一郎記念図書館が卒業して年齢を重ねても学生時代のキラキラした思い出の一つとして記憶に残っていることを願います。いつか学生の子どもたちや孫たちが平井嘉一郎記念図書館で学んでくれる日がくればいいなと思います。

(図書館学術情報課・職員)

平井嘉一郎記念図書館開館5周年おめでとうございます。開館時に初めて図書館に足を踏み入れライブラリーバレーを見上げた時の感動を今でも覚えています。アメリカで学生時代を過ごし向こうの図書館の広大さ・美しさを知っていたので、本図書館で、同じ感動と、無限に広がる学術の世界に多角的に触れられる喜びを再び体験する事ができました。多くの学生にこのような感動を与えられるよう、この場所で過ごす日々がずっと心に残るような利用支援ができるよう、職務に邁進していく所存です。平井嘉一郎様、平井信子様、素晴らしい図書館をご寄付頂き、誠に有難うございます。

(図書館利用支援課・職員)

素晴らしい図書館を寄贈いただきありがとうございました。衣笠キャンパスの建物の中でも、抜群に綺麗で快適な学習環境を実現できていると思います。

(図書館利用支援課・職員)

平井嘉一郎記念図書館の開館5周年おめでとうございます。

開館から5年、平井嘉一郎記念図書館は日本を代表する大学図書館として高い評価を受け、社会からの注目を集めてきました。私たち立命館大学図書館スタッフ一同、最先端の機能を持つ平井嘉一郎記念図書館において、利用者に満足度の高い図書館サービスを提供できることを大変嬉しく、また光栄に思っております。

私たちはこれからも質の高い図書館サービスを通じて立命館大学の教育・研究活動を力強く支え、アカデミックシンボルである平井嘉一郎記念図書館の充実と発展に努めることをお約束します。

(学術情報部・職員)

衣笠キャンパスのとある学部事務室で大学院事務局を担っていた時のこと。ASEAN 各国からの留学生を新生に迎え入れ、図書館ツアーなども開催しました。オリエンテーション終了後「キャンパスが美しいし、その中でも図書館が素晴らしい！」といった声が多かったことを今でも憶えています。修了後母国に戻った後も、ふと日本を思い出す際、きっとこの図書館で過ごした空間の記憶も心に残っていることと思います。記憶に残る図書館をご寄付いただきありがとうございました。

(図書館利用支援課・職員)

図書館で勤務している職員です。他大学さんとの交流・意見交換のたびに衣笠キャンパスに素晴らしい図書館があることについてお声をいただきます。そのたびにいつも誇らしく、うれしく思っています。つい先日は高校生(受験生)の子供の友人と話をする機会がありました。どの学部を志願しているのかが話題の中心だったのですが、その際に衣笠キャンパスと言えば、「図書館が凄い!!」との反応でした。オープンキャンパスで見学したとのことですが受験生にとっても憧れの存在であり、勉学の明確な指標となっていることがわかりました。勿論、子供と友達にはしっかり勉強して立命館大学に入学したら、ガンガン図書館で勉強できるように、今は受験勉強を頑張りましょう♪とお話させていただきました。

(図書館学術情報課・職員)

2020年4月、思いがけない縁に恵まれ、衣笠キャンパスにて勤務することになりましたが、図書館を利用させて頂いたのは夏以降だったと思います。大変な春でしたので、学生の皆さんが利用できるようになってから伺ったのを覚えています。私が平井嘉一郎記念図書館や修学館リサーチライブラリーで受けている恩恵は、業務上にも趣味上にもたくさんあります。特にここ数年続けていた英語多読の本、専門の本などAPUやOIC、BKCからの取り寄せ図書が数日で届き、メール通知を受けられるのは大変助かります。先日も著者から出口治明APU学長あてに献本のサインの入った本を拝読したばかりです。吹抜に排架されている校友の方の本を取り出そうとすると、自分が建築の一部となった気分になります。今世紀の図書館建築の潮流であるカフェや展示コーナーも利用しています。図書館史に残るプレゼントを下さった平井様ご夫妻に感謝です。

(産業社会学部事務室・職員)

平井嘉一郎記念図書館の資料をいつもAPUライブラリーに貸し出してくださりありがとうございます。平井嘉一郎記念図書館の豊富な蔵書にいつも助けられております。

(APUアカデミック・オフィス・職員)

平井嘉一郎記念図書館開館 5 周年にあたり、ここに改めて本図書館をご寄贈いただいた平井信子様、開館準備に際してご尽力いただいた平井財団の皆様、吉田元学長、関係者の皆様に改めて感謝の意を表します。大学にとって図書館は、教育・研究活動の中心的基盤であり、またキャンパス空間のシンボルでもあります。2016 年の開館式ではじめてこの図書館を訪れたとき、その威容、最新鋭の設備、空間配置に仰天したのが思い起こされます。新型コロナウイルスの感染拡大の下で、キャンパスが閉鎖されたり、授業のオンライン化が開始されたりと「平時」とは異なる対応が求められました。これにより、物理的空間としての大学とその教育・研究機能の関係を改めて問い直す課題が浮上しています。図書館もまた同じです。

現在、立命館大学は 10 年先を見据えた大きな改革に取り組みつつありますが、知的リソースの集積、新しい知識・知見の生産と発信、学習・教育活動、社会貢献に新たな発想でとりくむための構想が図書館には求められています。こうした改革課題への十分な応答が、平井嘉一郎図書館の開館から今日にいたるまでにいただいたご厚意に報いることにほかならないと改めて決意する次第です。

立命館大学図書館長 重森臣広

平井嘉一郎記念図書館の開館 5 周年、誠にありがとうございます。開館に当たってご尽力ならびにお世話いただいた皆様には厚く御礼申し上げます。初めて平井嘉一郎記念図書館を訪れたときは、まず白くて立派な柱に圧倒されましたが、入館して広大で綺麗なギャラリーや余裕のあるスペースに並んだ書架と閲覧室に感動しました。

平井嘉一郎記念図書館を利用する学生諸君に伝えたいのですが、普段私が利用しているキャンパスの図書館や他大学の図書館に比べると、君たちはなんて恵まれていることでしょうか。もちろん入れ物だけでなく、本学の蔵書やデータベースの規模も他大学の追随を許しません。ただし、折角の図書館も蔵書も君たちが利用しなければ存在意義を失います。アンケート等から在学中に図書館をほとんど利用しない人がいるのですが、非常に残念に思います。図書館は知の宝庫です。勉学や研究に活用して、充実した学生生活を送ってください。

立命館大学図書館副館長 大西淳

### 平井嘉一郎記念図書館 開館 5 周年を祝して

「やりましょう」という平井信子様のご決断によって、5 年前、「平井嘉一郎記念図書館」が誕生した。児童、生徒、学生、院生など、これからの時代の担い手を何よりも大事にしたいという立命館の平井嘉一郎先輩の思いが具体化したのも、この時である。私個人としては、図書館長のときに建設計画が始まり、総長のときに開館した経緯があり、平井信子様には深く感謝申し上げたい。

本図書館は、学び舎である大学の「知のセンター」として、「学びの共有地」であるラーニング・コモンズとして、将来にわたって変化し発展するに違いない。人生の最も変化に富む学生時代に、討論し思索に耽った空間である「平井嘉一郎記念図書館」が、情報化の時代だからこそ、卒業してからも難問に出会うたびに訪れる場として利用され続けることを願ってやまない。

前学校法人立命館総長、元立命館大学図書館長、  
立命館大学名誉教授 吉田美喜夫

2014 年夏、平井嘉一郎記念図書館建設の最中、平井信子さん（親愛の情から「さん」と呼ばせください）は、作業現場のみなさんへアイスクリームなど冷たいものの差入れを、2 度、3 度となさいました。後日、そのお話を伺い、我が子のように図書館の誕生を待ち望む信子さんのお気持ちを実感しました。若者を育てたい、母校立命館大学の役に立ちたいという夫、平井嘉一郎氏の思いを我が事と捉える信子さんの強い意志を感じました。何かを寄贈する、寄付するという利他的行為には、寄贈者、寄付者の意志が働いています。今、本図書館を利用しているみなさんが直接的には接していない方であっても、平井嘉一郎記念図書館という名称には、嘉一郎さん、信子さんの意志が込められていることを知っていたきたいのです。人の思いはリレーされ、伝わると信じています。

元立命館大学図書館長 二宮周平

平井嘉一郎記念図書館開館 5 周年、誠にありがとうございます。

2017-18 年に図書館長をやらせていただきました御縁で、一言ご挨拶申し上げます。

図書館長をやっておりますと、全国のいろいろな大学図書館との交流企画に参加することになります。とりわけ、立同関関（あるいは関関同立）の間の交流は深く、毎年図書館長会議が開かれます。そこでわたしは、立命館の学習図書館ならではの、たいへんな強みについてはじめて気付くことになりました。なんだと思われませんか？それは、学生スタッフの素晴らしさです。ピアラの真ん中でいろいろ相談に乗ってくれたり、図書の貸し出しをしてくれたりする学生スタッフです。わたしたちにとって、日ごろ見慣れた、いわば「当たり前の」存在としての学生スタッフですが、関関同の諸大学でさえ、立命館のような充実したスタッフ・サービスは提供できていないのです。

そうです、図書館もまた「人」なのです。立命館大学らしい生き生きとした学生諸君の活動を応援する平井嘉一郎記念図書館をご寄附いただいた平井嘉一郎様・信子様に、あらためて感謝申し上げたいと思います。

元立命館大学図書館長 板木雅彦

2021 年度立命館大学平井嘉一郎記念図書館が開館 5 周年を迎えるにあたり、お祝い申し上げます。ご寄付を賜りましたご室平井信子様に対しまして、心より感謝申し上げます。本記念図書館は、日本でも秀逸の大学図書館として、全国の図書館、初等中等教育そして地元地域の関係者の熱い注目と高い評価を得ることとなりました。全学の待望であった 2016 年度の開館の際には、学生・教職員より歓喜の声をもって歓迎されましたことを鮮明に思い出されます。その後、5 周年を迎えましたこと大変感慨深い想いです。

平井嘉一郎様はニチコン株式会社を創業し、戦後より半世紀にわたり日本の産業復興に多大なるご貢献を果たされ、今日の電気電子、機械、情報産業の基盤を築き上げられました。その類まれなるご功績は、日本の産業界隆盛と人々の生活向上を想う平井嘉一郎様のお志と有言実行・率先垂範とする真摯なる姿勢によるものでありました。そのご功績とともに、若者の育成と学術への貢献に尽くしたいとのご遺志にもとづき建設されました記念図書館は立命館大学にとっての宝であり、学生・教職員の教育・研究活動そして社会貢献に向けた館として、今後末永く、利用されますこと祈念いたします。

元立命館大学図書館副館長 高山茂